

# 松山市民病院 創立 60 周年記念式典を開催

平成 28 年 6 月 1 日（水）、松山市民病院は創立 60 周年を迎え、記念式典が開催されました。山本祐司 理事長・院長の挨拶に続いて、永年勤続者表彰が行われ、勤続 35 年以上 16 名、30 年以上 22 名の職員に表彰状と記念品が授与されました。表彰者を代表して川本かよ子 看護部長が謝辞を述べたあと、互助会により新しく作製された永頼会の病院旗が水上祐治 互助会長から院長へと手渡されました。最後に花本雄二 事務長による万歳三唱で式典は終了しました。

引き続き、出席者の記念写真撮影が行われ、須賀正和 副院長の乾杯の発声で祝宴に移りました。各々思い出話に花を咲かせながら和やかな雰囲気の中で歓談し、玉野祐仁 医療事務部長の一本締めで閉会となりました。



## ～理事長・院長挨拶 山本祐司～

本日、松山市民病院は創立 60 周年の節目の日を迎えることができました。2 年前の永頼会 50 周年記念フェスティバルとは違った趣きで、ここにお集まりの現職員の皆さんとともに病院創立 60 周年記念式典を執り行い、この喜びを分かち合いたいと思います。

松山市民病院は昭和 31 年、1956 年の今日、6 月 1 日に、この大手町で「市民による、市民のための」病院として、協同組合立でスタートしました。創立当初は、わずか 20 床の木造 2 階建ての病舎でしたが、その後、救急病院の指定や財団法人への移行、診療科の新設などを重ね、地域ニーズの高まりとともに、なくてはならない急性期総合病院として発展してまいりました。その中で病院棟の増築、建て替えが行われ、今回の南棟完成で 2 巡目の建て替えが終了しました。医療を取り巻く環境が次第に厳しくなってゆく中、ここまで病院が大きく成長できたのも、ひとえに、開院からこれまでの歴史を支えてきた多くの職員の皆さんの努力と関係各位のご理解とご協力のおかげであると、感謝申し上げます。

松山市民病院の理念の第一に「地域住民のために存在す

る」、基本方針の第一に「地域のニーズに応える誠実な医療」と地域に寄り添った言葉が謳われています。記念すべき 60 周年のこの日を職員一人ひとりがそれぞれの立場で、これまで以上に地域医療に貢献していく決意を固める機会とし、今日からまた新しい歩みを進めていただきたいと思います。



続きまして、本日は永年勤続者表彰を行います。勤続 39 年の方を筆頭に 30 年以上の方 38 名に表彰状と記念品を授与いたします。表彰を受けられる皆さん、まことにありがとうございます。十年一昔と言いますが、勤続 30 年以上となりますと、病院の歴史の半分以上を知る方々です。長年にわたり、病院で働いてきた中でさまざまな出来事があったことと思いますが、今日まで乗り切ってこられた労をねぎらい、感謝の意を表します。今後も健康に留意され、さらなる病院の充実・発展に向けて協力いただきますようお願いしまして、創立 60 周年記念の挨拶といたします。

